

エシャレット栽培暦

庄内みどり農業協同組合

1. 品種特性

- ① 風害・干害に強く、比較的低温に耐えるが、暑さに弱い。根は通気性を好み湿害には弱い。
- ② 生育適温は20～23℃。30℃以上になると生育は停滞し、休眠する。
- ③ 休眠はごく浅く、肥大終了後約1カ月程度。
- ④ 分球は秋と春の2回。秋の分球は定植時の種球の分球芽からおこり、春は分球芽が展葉して分けつする。

年明け出荷は、8月下旬～
9月上旬定植(作型下段)。

2. 作型と作業

	8月			9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業	○		△ × ○		△ × △			△ × △				■ △	■		

	1月			2月			3月			4月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作業							■	■	■			

凡例:○…定植 追肥…△ 土寄せ…× 収穫…■

3. 施肥

	肥料名	現物施肥量(10畝)	摘 要
基肥	完熟堆肥	2,000kg	未熟堆肥は避ける
	BM フミン	100kg	
	CDU 燐加安 S682	100kg	
追肥	庄内 S604	120kg	1回40kgを3回に分ける

3. 種球の準備

- 10畝当たり、300kg 必要。種球は首の良くしまった光沢があり、丸形の充実したものを選択。
- 種球養成は専用圃場を準備。9月上中旬に植え付ける。多肥栽培は貯蔵性が劣るので施肥管理に注意する。掘り上げは6月下旬～7月上旬の晴天乾燥時。軒先などの風通しの良いところに吊るし、種球に直射日光が当たらないように寒冷紗等で覆う。

4. 定植と管理

①定 植

- 7月下旬～8月上旬に定植する(年内出荷の場合)。
- 栽植密度は、畦間 60 cm、株間 10 cmの 2 条植えとする。植付け深さは 6 cmとする。

②土寄せと追肥

- 追肥は発芽揃い頃から開始し、1 カ月ごとに 2～3 回程度施用する。
- 土寄せと中耕は、葉や根を傷めないように追肥ごとに実施し、最終土寄せは収穫の 30～40 日前に軟白部が 10 cm以上確保できるようにする。

③灌 水

- 定植後、地温が高いと萌芽不ぞろいとなるため、地温低下と水分補給のために灌水を実施する。
- 9 月末までは、萌芽促進と茎葉促進のため、天候と乾燥状態を見極めて灌水の実施。

5. 収 穫

- 収穫の目安は、10 cm以上の軟白部が確保でき、分けつ数が 6～7 個で 1 株重量が 12～13g に達した頃とする。
- 掘り取り後、砂を落とし、根を 1 cm程度残して、出荷仕向けごとの規格に合わせて調整する。
- 10 畝当たり 1,500kg の収量を目標とする。